

モビリティシェアリングの進展と自動車所有形態に与える影響の見通し（～2022年）

【概要】

本調査では、特定の都市部での新しいモビリティシェアリングプラットフォームの成功と個人の自動車所有形態への影響についてまとめています。車両販売の減少、配車サービスへの新規参入企業との競争、モビリティシェアリングサービスの急増などの要因を分析し、コストと利便性のスコア、混雑スコア、モビリティスコア、および公共のインセンティブスコアなど対象地域のさまざまなスコアを作成します。調査対象地域は北米、調査対象期間は2022年までです。

【内容一覧】

エグゼクティブサマリー

- 調査結果：個人の自動車所有形態
- 調査結果：MaaSの採用
- 主な調査結果と今後の見通し
- 調査の範囲と目的
- 市場成長要因：車両所有形態
- 成長要因としての車両所有形態について
- 市場阻害要因：車両所有形態
- 阻害要因としての車両所有形態について
- 市場成長要因：MaaS
- 成長要因としてのMaaSについて
- 市場阻害要因：MaaS
- 阻害要因としてのMaaSについて
- 市場動向の考察（2018～2022年）
- 車両所有形態の予測
- 調査基準と変数について
- 個人の自動車所有権を放棄する可能性
- モビリティシェアリングサービスの成功の予測
- 調査基準と変数について
- 成功が予測されるモビリティシェアリング
- 車両所有形態のプロファイル：シアトル
- 車両所有形態のプロファイル：ダラス

- 車両所有形態のプロファイル：デトロイト
- モビリティシェアリングの成功事例：シアトル
- モビリティシェアリングの成功事例：ダラス
- モビリティシェアリングの成功事例：デトロイト

成長機会と企業への提言

結論

付録

フロスト & サリバンについて

"